

補助事業成果書

1 補助事業の実施方法

提案書に掲げた実施方法は以下のとおりだった。

世田谷の「グリーンインフラ」を、学び／体感し／守り／育てるためのイベントを通じ、区民のみどりへの意識向上を図る。

実施体制

エリア・マネジメント：世田谷区内5地域に担当者を置き、企画・運営その他、各地域における情報の集約と業務進行の徹底を図る。

新メンバーの起用：新入会員を中心に、団体の内外に新たな人材を求め、機動的な実施体制を敷く。

イベント

1) 世田谷落ち葉ひろいリレー2018

私有地：寺社(最重点課題)／市民緑地／その他(団地など)

公有地：街路樹／公園・緑地／その他

2) シンポジウム(グリーンインフラをテーマとし、1)との連携を図る)

実施手法

1) 世田谷落ち葉ひろいリレー2018

協働会議＝全体統括と広報／実施団体＝各落ち葉ひろいイベントを主催

特に中学校の行事化のため、関係機関への協力を要請するほか、まちづくりセンターを通じて町会への参加働きかけを行う。

2) シンポジウム

より広い会場を求め、区内大学での開催を検討する。

以上の計画に対し、結果は以下のとおりだった。

<実施体制>…落ち葉ひろいリレーにおけるエリア・マネジメントは、長らく課題としているところである。協働事業開始以前から長きにわたって実績ある砧地域と、日頃から地元密着度が高い烏山地域では、ほぼ目論見どおりとなったが、その他では十分に機能したとは言い難く、事務局中心の運営となった。新メンバーの参画があった一方、既存メンバーに病気や業務多忙からの離脱もあり、マンパワー不足は解消していない。

<実施手法>…落ち葉ひろいリレーでは、当初中学校での実施を目論んだ(各地域1校ずつの試行)。しかしながら、断念したいいくつかの理由のひとつは、昨年の猛暑～落葉が大幅に早まったことである。その結果、急遽開催を早めたため

平成29年度：11月17日～12月10日(24日間) 実施回数36回

平成30年度：11月1日～12月11日(41日間) 実施回数43回(ほかに雨天中止分4回を計画)

大幅に負担が増すために断念した。とはいえ、前年以上の収穫は確実にあった。

以下、<2 補助事業の成果の具体的内容>で、シンポジウムともども成果と課題を明らかにする。

2 補助事業の成果の具体的内容

1) 落ち葉ひろいりレー

5W1H	項目	内容
Why	開催趣旨	担当課が最重要課題と考える寺社を中心に、私有地での開催(場所・回数)を増やす 中学校への参加要請などを通じ、初冬の風物詩としての定着への第一歩とする
When	開催日時	11月1日(木)～12月11日(金) 計 20箇所・47回 (上記のうち 成城サクラ並木北地区・同南地区各2回・計4回が、雨天中止)
Where	開催場所 (*新規)	<p>< 烏山地域 > 南烏山コーシャハイム千歳烏山 / 粕谷都道 118 号線 / * 北烏山高源院</p> <p>< 砧地域 > 成城学園いちょう並木 / 成城サクラ並木北地区 / 成城サクラ並木南地区 千歳台都道 118 号線 / * 成城四緑地 / 成城三丁目崖(はけ)の林 / 喜多見慶元寺</p> <p>< 北沢地域 > 大原一丁目柳澤の杜 / * 豪徳寺</p> <p>< 世田谷地域 > 三宿の森緑地 / 世田谷区本庁舎ケヤキ広場 / 下馬世田谷観音</p> <p>< 玉川地域 > 上用賀サクラ並木 / 桜新町サクラ並木他 / 瀬田四丁目旧小坂緑地 / * 等々力四 丁目緑地 / 等々力玉川神社 / 等々力不動尊</p>
Who & Whom	対 象 実施団体 (*新規)	一般市民 / 地元企業社員 / 明正小児童(成城) / 千歳中学校生(千歳台) 世田谷グリーンソサエティ / ガーデニングクラブ・ティレル / 成城自治会 / 成城地区 成城会 / 崖線みどりの絆・せたがや / * 野川とハケの森の会 / せたがや喜多見農と みどり / 街づくりの仲間たち / * 豪徳寺落ち葉清掃倶楽部 / 三宿の森を育てる会 / 世田谷区庁舎のケヤキ並木が作る広場の風景を愛する会 / 上用賀町会 / 桜新町 親和会(町会) / 世田谷トラストまちづくり大学同窓会 / * 世田谷みどり33協働会議
What	開催形式 配布書類	各団体による自主運営 < アトラクション > 非常用窯使用による焼き芋(南烏山) / 汁粉提供(瀬田) / 落ち葉 焚きと焼き芋(世田谷観音 / 等々力不動尊 / 慶元寺) / 住職講話(慶元寺) 落ち葉ひろいりレー リーフレット
How	集客方法	< 担当課 > HP 告知 / 区内施設にリーフレットを 2500 部設置 / みどりの推進員へのリ ーフレット送付 < 協働会議 > リーフレット配布(含 実施団体) / フライヤー配布(南烏山・瀬田・喜多 見) / チラシポスティング(粕谷ほか計8箇所) / Facebook イベントページ / クチコミ

結果(アウトプット)

参加実績 H.28年度801名→H.29年度930名→H.30年度1,256名(対前年35.1%増)

事業年度	参加者数	対前年比	対 2016 年
2016 年	801		
2017 年	930	16.1%増	
2018 年	1,256	35.1%増	56.8%増

成果(アウトカム)

すべてにわたり増加している。

事業年度	開催場所	延開催数	主催団体
2016年	7	25	6
2017年	17	36	12
2018年	20	43	15

* 数字はいずれも正味開催数・主催団体数

寺社は3地域 5地域に拡大

事業年度	公有地			私有地		
	街路樹	公園・緑地	その他	寺社	市民緑地	その他
2016年	5	1				1
2017年	6	2	1	4	3	1
2018年	6	3	1	6	2	2

特記すべき参加者・実施形態として、以下のものが挙げられる。

.(児童・生徒への啓発)

すでに学校行事として定着している明正小と、千歳中学(生徒会の自主的活動)が参加

.(民民連携 寺社)

まちこらば柴田氏に関わる豪徳寺と烏山寺町の高源院が新たに加わり、全5地域をカバーすることになった。豪徳寺は、地元商店街有志を中心に現在も月初の清掃ボランティアを継続中。鴨池の水位が下がり鴨の飛来が途切れている高源院での実施は住職に喜ばれた。周囲には26の寺があり、寺町を形成しているが、どこまで手をつけるべきかは今後の課題である。

高源院と慶元寺以外のすべての寺社では、2回ずつ実施、慶元寺は主催団体有志がイベント後も清掃ボランティアをしている。今回、世田谷観音・等々力不動尊・慶元寺で落ち葉焚き～焼き芋を実施、とりわけ慶元寺の参加者数は142名にのぼり、活況を呈した。「キラー・コンテンツ」とする目論見は当たったと言える。

.(民民連携 市民緑地)

本年も世田谷トラストまちづくり仲介の労をとっていただいたが、準公園的性格の市民緑地での開催は、今後見直す。近隣での開催が重なることもあり、北烏山九丁目屋敷林は外した。

.(民民連携 民間緑地)

担当課紹介による等々力四丁目緑地すなわち大平農園での開催は、2018年の最も印象深い活動となった。屋敷林の落ち葉を腐葉土とするため、集めた落ち葉をビニルハウスの保管所に溜める作業を終日行ったのだが、なんのアトラクションもない援農作業を「焼き芋よりたのしい」と言ってくださった参加者の言葉がすべてを物語っている。<波及効果(インパクト)>で詳述。

制作物

.(リーフレット)

仕上りA4サイズ・片観音開きの計6ページのリーフレットを作成。前年版の流用だが、Q&A頁をなくし、実施団体情報(公有地・民有地 各1ページ)に充てた。

[リーフレット]

世田谷 落ち葉ひろいりー 2018

今年もみんなで参加しよう!

世田谷落ち葉ひろいりー2018

春には花や新緑でみんなの目を楽しませ、夏には緑い木陰に涼しい風をかせ、秋には紅葉で街を彩りてきた秋葉を、すべてをのり木に、二酸化炭素を吸収し、酸素を産みだす「命のみなもと」です。そんな街の樹木たちと、心からの感謝の気持ちを込めて、みんなで落ち葉をひろいましょう。あなたの住まいの近くの道路側や公園、お寺や神社の一角で、もうすぐ秋のひろいりが始まります!

平成30年度 世田谷区行政協働型協働事業
 <世田谷区落ち葉ひろいりー2018>は、「世田谷みどり33」協働会編成
 世田谷区みどり推進課を核として開催します。
 (世田谷区みどり推進課)
 協働会編成(世田谷区みどり推進課)に賛同し、共同で実施する。目標・趣意の集約が目的です。

表紙

中面右

この1年の
みどりの恵みに
感謝を込めて。

世田谷落ち葉ひろいりー 2018 MAP

この1年のみどりの恵みに感謝を込めて。

- ① 寺 北増山・高善院 NEW**
北増山・高善院 1000 落ち葉ひろいりー2018 協働会編成(世田谷区みどり推進課)に賛同し、共同で実施する。目標・趣意の集約が目的です。
- ② 寺 東多摩・豊元寺**
東多摩・豊元寺 1000 落ち葉ひろいりー2018 協働会編成(世田谷区みどり推進課)に賛同し、共同で実施する。目標・趣意の集約が目的です。
- ③ 寺 三ツ木の森神社**
三ツ木の森神社 1000 落ち葉ひろいりー2018 協働会編成(世田谷区みどり推進課)に賛同し、共同で実施する。目標・趣意の集約が目的です。
- ④ 寺 三ツ木の森神社**
三ツ木の森神社 1000 落ち葉ひろいりー2018 協働会編成(世田谷区みどり推進課)に賛同し、共同で実施する。目標・趣意の集約が目的です。
- ⑤ 寺 三ツ木の森神社**
三ツ木の森神社 1000 落ち葉ひろいりー2018 協働会編成(世田谷区みどり推進課)に賛同し、共同で実施する。目標・趣意の集約が目的です。

中面左・中央

世田谷落ち葉ひろいりー 2018 MAP

世田谷落ち葉ひろいりー 2018 MAP

この1年のみどりの恵みに感謝を込めて。

落ち葉の舞う風景は
世田谷のまちの宝物

落ち葉の舞う風景は世田谷のまちの宝物

世田谷区には、美しい自然環境が数多くあり、その中でも、落ち葉の舞う風景は、世田谷のまちの宝物です。この1年のみどりの恵みに感謝を込めて、落ち葉をひろいりーに参加しましょう。

裏表紙

世田谷落ち葉ひろいりー2018 カンパ

No.	名称	金額	名称	金額
9	金 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
10	土 北増山・高善院	1000	成誠・豊基本	1000
11	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
12	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
13	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
14	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
15	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
16	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
17	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
18	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
19	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
20	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
21	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
22	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
23	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
24	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
25	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
26	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
27	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
28	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
29	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000
30	土 成誠・豊基本	1000	成誠・豊基本	1000

世田谷落ち葉ひろいりー2018 開催場所・団体 一画 ① (その2は裏表紙に掲載)

【私有地】 寺社・市民施設・その他私有地 (NEW・今年が初めて開催する場所)

No.	名称	金額	No.	名称	金額
1	寺 北増山・高善院	1000	11	寺 東多摩・豊元寺	1000
2	寺 東多摩・豊元寺	1000	21	寺 三ツ木の森神社	1000
3	寺 三ツ木の森神社	1000	31	寺 三ツ木の森神社	1000
4	寺 三ツ木の森神社	1000	41	寺 三ツ木の森神社	1000
5	寺 三ツ木の森神社	1000	51	寺 三ツ木の森神社	1000
6	寺 三ツ木の森神社	1000	61	寺 三ツ木の森神社	1000
7	寺 三ツ木の森神社	1000	71	寺 三ツ木の森神社	1000
8	寺 三ツ木の森神社	1000	81	寺 三ツ木の森神社	1000
9	寺 三ツ木の森神社	1000	91	寺 三ツ木の森神社	1000
10	寺 三ツ木の森神社	1000	101	寺 三ツ木の森神社	1000

世田谷落ち葉ひろいりー2018 開催場所・団体 一画 ② (その1は中面に掲載)

【公有地】 借地・公園・公共施設 (NEW・今年から新たに開催する場所)

No.	名称	金額	No.	名称	金額
1	借地 成誠・豊基本	1000	11	公園 成誠・豊基本	1000
2	公園 成誠・豊基本	1000	21	公共施設 成誠・豊基本	1000
3	公共施設 成誠・豊基本	1000	31	公共施設 成誠・豊基本	1000
4	公共施設 成誠・豊基本	1000	41	公共施設 成誠・豊基本	1000
5	公共施設 成誠・豊基本	1000	51	公共施設 成誠・豊基本	1000
6	公共施設 成誠・豊基本	1000	61	公共施設 成誠・豊基本	1000
7	公共施設 成誠・豊基本	1000	71	公共施設 成誠・豊基本	1000
8	公共施設 成誠・豊基本	1000	81	公共施設 成誠・豊基本	1000
9	公共施設 成誠・豊基本	1000	91	公共施設 成誠・豊基本	1000
10	公共施設 成誠・豊基本	1000	101	公共施設 成誠・豊基本	1000

(ポスティング・チラシ)

前年、一定の効果があったポスティングを、前年の3箇所3回・500枚から7箇所8回・1200枚で行った。前年同様、リーフレット表紙をベースにチラシを作成、SNS(Facebook)投稿にもしばしば活用した。

小冊子

今年度の目玉企画として計画した。体裁：B5判型・表紙込16頁・フルカラー
 内容：中学生が理解できるレベルで、<世田谷のみどり>を理解するための、基本知識を網羅する。前年の落ち葉ひろいりーの「Q&A」頁の拡大版をイメージし、セタちゃんとみどりのおじさんの質疑を左頁・付帯記事を右頁に設けた7章立て
 原稿作成はほぼ完了し、まずまずの出来だと思ったが、日々情報が更新される中で、いまひとつ熟成させる必要があると思えるようになった。さらには、シンポジウムの登壇を依頼した木田氏より、グリーン

インフラ総研のすばらしい冊子を手し、その思いが強まった。

結論として、小冊子作成はペンディングとし、次年度に引き継ぐこととした。監修を当初考えたとおり、みどり政策課とするか、「協力」程度にとどめるか等、この際、よく検討し、「世田谷みどり33」推進に役立つツールとして完成させたい。

[小冊子]

文字原稿の一部(デザイン前)

<P.4>

3 危機にさらされる地球

セガちゃんのみどりのみどりの Q&A

Q.5 おじさんが子どもの時も、夏は今年（2018年）みたいに暑かったの？

A.5 おじさんが子どもだった1970年頃の世田谷は、夏の暑さは今よりもっとおたやかと、冬は朝、霜柱で地面がもこもこに凍り上がるほど寒かった。ヒートアイランド現象と言って、都市化、つまりある地域の人口が増えてみどりが減ると、郊外に比べてその地域は気温が高くなるものなんだ。ただ、最近の気温上昇は、全国各地で起こっており、明らかに地球規模の気候変動が加速していると考えざるを得ない。地球温暖化は、巨大台風の発生や記録的な集中豪雨のような気象の激変化をもたらす上、海面の上昇など起こり、人類にとってはたいへんな脅威だ。

Q.6 気候変動は、どうして起こっているの？

A.6 地球の表面の温度が長期的に上昇する現象、すなわち地球温暖化の影響を包括的に指す気候変動の原因はいろいろな原因があり、大きく分けると人為的な原因と非人為的な原因の二つになる。気候変動に関する政府間パネル (Intergovernmental Panel on Climate Change 略称：IPCC) は、2014年の第5次評価報告書で、<1950年以降に観測された温暖化の主因は人間の活動によるものである可能性が極めて高い(95%以上)>とし、温室効果ガスの主成分である二酸化炭素を大量に放出してきた人間の責任を問うている。

過去のメッセージ
我々の前に来た人々に地球は何をしたのかと問われたら、いったいどう説明できるだろう。何千年もあついものや氷河期や半紀主権にもかかわらず、わが祖先は、それでも美しいまの地球を我々に手渡してくれたというのに。(ウィリアム・モリス 1883年)

未来へのメッセージ
我々は気候変動の影響を受ける最後の世代であり、対策を講じるのができる最後の世代でもある。(バラク・オバマ 2015年)

■二つのメッセージが意味するもの
世界に先駆けて成長しつづけた産業革命によって引き起こされた環境破壊を、イギリスでモリス（デザイナー・詩人・思想家）が嘆いていたように、日本では本格的な気候変動が始まっています。1876年（明治9年）以来の過去140年間の東京の日常の平均気温を見ると、夏の気温が上がり始めたのは1920年代・昭和の開始の頃から、年間平均気温では、過去100年で3.2度上昇しています。
モリスが嘆息、日本の高度成長期に落ちた大気汚染を止めようとする工業化による公害は、その後、克服できたかと思われました。しかし、長年にわたって蓄積した二酸化炭素は地球温暖化を招き、開発がグローバルに広まったせいで、決定的な影響を地球規模に及ぼし始めました。オバマ前大統領が、米国内の石炭火力発電所からの二酸化炭素排出量を、大幅に削減する計画を明らかにした際の演説… 計画を策定した米環境保護局（EPA）のニュースレターのタイトル「何と行おう（Go Green）」と共に、記憶にとめておきたいことです。

<P.5>

■ヒートアイランド現象
コンクリートやアスファルトに覆われた人工地表面は、緑地と比べて日射による熱の蓄積が多く、また、暖まってく冷たい性質があることから、日中に蓄積した熱が、夜間の気温の低下を妨げることになります。また、都市で建築物の気密化及び高気密化が進むと地表面からの放射熱が停滞し、風通しが悪くなることで地表面が熱くなって、気温の低下をいっそう妨げます。
さらに、都市の多様な産業活動や社会活動からは、大量の熱が放出されます。ヒートアイランドとは、このようなメカニズムにより、都市部の気温がその周辺の郊外に比べてその部分だけ数℃気温を上昇する現象のことです。



ヒートアイランド現象の概念図（気象庁 HPより）

■気候変動
IPCC 第1作業部会 (WG1) は三つある作業部会のうち、気候システムおよび気候変動についての科学論を行う部会であり、科学的根拠を明らかにすることを使命としています。
第5次報告書では、気温、海水温、海氷面積、雲氷減少などの観測事実から、もはや「気候システムの温暖化は疑う余地がない」とし、また、その人為的な原因についても、第4次報告書よりもっと踏み込んだ表現をとっています。
2015年、第21回気候変動枠組条約締約国会議 (COP21) で採択された、気候変動問題に関するパリ協定は、歴史的転換点といえます。
■地球温暖化
地球温暖化が進行すると、何が問題なのか？ IPCC 第1作業部会による将来の予測によれば、
1. ほとんどの地域で暑い、日や曇、夜の気温の減少や昇温／ほとんどの地域で寒い、日や曇、夜の気温の増加や昇温／ほとんどの地域で継続的な高温、熱波の頻度や持続時間の増加／大気中の湿度・強度・降水量の増加
2. 干ばつや渇水や森林火災の増加／強い熱帯低気圧の活動量の増加／極端な雨、雹の発生や高波の増加
…以上のような気象および気候の観測現象の予測がなされています。カナダ人の女性ジャーナリスト、オノミ・クワンが指摘するように、「気候変動は人類最大の危機」であるという認識をもって、対応しなければならぬのです。

iv. これまでの報告について (WG1)

報告書	年次	内容
第1次報告書 First Assessment Report (1990年)	1990年	「気温上昇が加速している」といふ結論を導き出した。人為的起源による温暖化の可能性も示された。
第2次報告書 Second Assessment Report (1995年)	1995年	「温室効果ガスが増加している」といふ結論を導き出した。人為的起源による温暖化の可能性も示された。
第3次報告書 Third Assessment Report (2001年)	2001年	「可能性が高い(90%以上)温暖化は観測された気温変化と一致している。温暖化による影響も示された。
第4次報告書 Fourth Assessment Report (2007年)	2007年	「可能性が非常に高い(95%以上)温暖化は観測された気温変化と一致している。人為的起源による温暖化の可能性も示された。
第5次報告書 Fifth Assessment Report (2013年)	2013年	「可能性が極めて高い(95%以上)温暖化は観測された気温変化と一致している。人為的起源による温暖化の可能性も示された。

IPCC 第5次評価報告書の概観 から (気象庁 HPより)



<仮タイトル>

世田谷のみどり

[世田谷グリーンインフラNOTE]

世田谷をみどりあふれるまちにするために

いま私たちが知るべきこと・できること・なすべきこと

<目次>

1. 私たちの目標 <世田谷みどり33> について
2. 世田谷のみどりの特徴
3. 危機にさらされる地球
4. 世田谷区の課題
5. グリーンインフラという選択
6. 世田谷区や市民の取り組み
7. みどりの恵みに感謝しよう

波及効果(インパクト)

以下の4点を特記する。

.(公民連携)

11月20日、成城地区会館で「東京みどりの研究会」(2市6区...三鷹・武蔵野 / 世田谷・杉並・練馬・板橋・大田・中野 の各行政担当部署の連携組織)の参加を得て、「落ち葉ひろいりレー」についてのレクチャーを行った。説明には成城地区成城会と中川理事があたり、終了後は好天の成城の街で、ボランティアのみなさまとともに落ち葉清掃を実体験していただいた。

今後、落ち葉ひろいが、これら各自治体でも行われる可能性は高いと思う。昨年のシンポジウムでは、埼玉県久喜市から石川県議をお招きし、また、国土交通省の町田課長(当時)には、地元江戸川区の取組みなどもご紹介いただいたが、こうした自治体間交流を今後も心がけていきたい。

.(メディアの取材・紹介)

11月22日の等々力四丁目樹林(大平農園)での活動は、地元東急沿線のケーブルTVイツコム取材を受け、番組「地モトNEWS」で放映された。

世田谷ボランティア協会の機関誌「セボネ」11月号では、<落ち葉の季節に「みどり」を考える>のタイトルで特集が生まれ、落ち葉ひろいりレーや世田谷みどり33が、6ページにわたって紹介された。

.(大平農園をめぐる活動の広がり)

日本における有機農業の発祥地である大平農園は、現在、高齢のオーナーの大平夫人が、ボランティアのサポートを受けつつ、20本以上の保存樹木がそびえる屋敷林と農地を守る専業農家である。既述のとおり、終日の「援農体験」は、参加者数こそ日曜開催の12月9日でも18名と、少なくはあったが、参加者には強い印象を残すものとなった。

11月3日、成城の砧支所会議室で、慶元寺の落ち葉イベントの主催団体であるNPO法人せたがや喜多見農とみどりの有志が中心となって、映画「大平農園401年目の四季」の上映会が催された。その場に居合わせた制作者の森信潤子氏は、9日の落ち葉ひろいの模様も撮影、大平氏ともども交流を深めた。一家で参加した世田谷ボランティア協会の星野氏はじめ、私(大坪)、せたがや喜多見農とみどり有志は、各々その後上映会を主催し、交流の環は着実に広がっている(せたがや喜多見農とみどりは、3月に実に三度目の上映会を実施する)。

大平農園の屋敷林は、市民緑地として存続することが決まっているそうだ。この貴重なみどりを守るため、今後も微力を尽くしたい。

.(市民連携)

大平農園での活動がそうであるように、民間同士の協力・交流は大切だと思う。

12月1日の南烏山・コーシャハイムでは、コミュニティカフェで協働事業を行っておられる「にじのこ」さんのイベントがあり、交流することができた。

小冊子「世田谷のみどり」のデザインは、昨年まで協働事業に取り組んでいた「二子玉川100年懇話会」の江口響子さんをお願いしたものである。まずは草の根の協働から。すべてはそこから始まる。

2) シンポジウム

5W1H	項目	内容
Why	開催趣旨	年来のテーマ、「グリーンインフラ」に焦点を当てて実施する 国の方針や他の自治体の取り組みを紹介する
When	開催日時	2月7日(木)18:30～21:30
Where	開催場所	北沢タウンホール(下北沢)
Who & Whom	対象 登壇者	一般市民(定員=270名)+関係者 <基調講演> 涌井史郎氏(東京都市大学 特別教授) <レクチャー> 木田幸男氏(グリーンインフラ総研 代表理事) <パネル・ディスカッション> 保坂展人区長 / 涌井史郎氏 / 小口健蔵氏(公園プロデューサー) / 土肥真人氏(エコロジカル・デモクラシー財団代表理事) / 平賀達也氏(ランドスケープ・アーキテクト) / 藤村龍至氏(ソーシャルアーキテクト) 手話通訳者2名
What	開催形式 配布書類	基調講演 / レクチャー / パネル・ディスカッション(6名) + 質疑応答 登壇者 PowerPoint 等資料冊子 / シンポジウム・フライヤー / グリーンインフラ総研冊子 / アンケート用紙
How	集客方法	<担当課> 区報掲載 / HP 告知 / 区内施設にフライヤーを2500部設置 / みどりの推進員へのフライヤー送付 / セタがやコール受付 <応援団> フライヤー配布 / SNS(Facebook イベントページ) / クチコミ

結果(アウトプット)

・参加実績は、以下のとおり。

一般参加者	区議会議員	みどり33職員	協働会議	登壇者	手話通訳	合計
139		6	6	7	2	160

・前年は合計78名 105%増

成果(アウトカム)

シンポジウムの正式名称

持続可能なグリーンコミュニティを目指して

シンポジウム 世田谷のグリーンインフラを考える

ちなみに

2016年: エコロジカル・デモクラシーから世田谷みどり33へ

シンポジウム 世田谷のグリーンインフラを考える

2017年: シンポジウム 街路樹と公園

身近なグリーンインフラを考える

主な成果として

- ・前年までのブライトホールでの土曜昼間開催から北沢タウンホールでの夜間開催に会場変更、参加者数の増大に結びついた。
- ・「グリーンインフラ」をテーマに掲げて実施してきた過去3年間の中間総括的意味合いで企画。4月1日に「豪雨対策行動計画」と「みどりの基本計画」で各々「グリーンインフラ」への取組みを謳い、関連シンポジウムの開催が続いた世田谷区の、いわば「グリーンインフラ元年」の掉尾を飾るイベントとすべく準備した。
- ・グリーンインフラ総研の木田幸男氏によるグリーンインフラの「実装」...議論から実践の時代へのシフトを訴えるレクチャーは、極めてタイムリーな意義ある内容だったと思う。
- ・上記木田氏をはじめ、登壇者に人材を得た。

基調講演の涌井史郎氏は、本邦グリーンインフラ推進論者の第一人者のおひとりであり

6月：ポートランドと世田谷をつなぐグリーンコミュニティ～世田谷ポートランド都市文化交流協会
発足シンポジウム

12月：グリーンインフラってなあに？～せたがやのグリーンインフラを考えよう

...これらのシンポジウムでも、基調講演を担当された。

今回の基調講演は、

<持続可能なグリーンコミュニティを目指して～世田谷・ポートランド・グリーンインフラ>
と題するもので、シンポジウムのサブタイトル同様、「グリーンコミュニティ」の一語を入れたのは、6月のシンポジウムとの整合を企図したものである。

保坂区長には、今回、はじめて挨拶だけではなく、パネル・ディスカッションにも加わっていただいた。涌井氏がファシリテーターを務めたパネル・ディスカッションのパネリスト4名は、2年前からの常連登壇者であり、この間の事情をよく知る方々である(藤村龍至氏のみ2年ぶり参加)。

なかでも、現在、建設が進む梅ヶ丘の複合施設「うめとぴあ」の、グリーンインフラ・アーキテクチャ設計に参画された平賀達也氏の事例発表は、ほとんどの参加者にとって未聞の内容だったはずだ。それは、木田氏のグリーンインフラ実装の必要性を裏打ちするものであった。

波及効果(インパクト)

主催者宣言

前年は、会場では何らかの宣言を発することの発表にとどまったが、今回は、シンポジウムの最後に発表をすることができた。

前年の宣言は5項目に及び、いささか肩に力が入りすぎたことから、今回はワンセンテンスにとどめた。内容も概念的ではあるが、この方針をいかに具体化するか、知恵を絞っていきたい。

私たちは、「参加と協働」を基本方針に掲げる世田谷区において
産官学民が一致協力してグローバルな視野から学び・行動し
グリーンインフラを世田谷のゆたかな社会基盤として根付かせ
持続可能なグリーンコミュニティとしての世田谷が実現するよう努力します。

2019年2月7日

シンポジウム参加者一同

参考：2018.2.10シンポジウム 主催者宣言

1. 私たちは、「グリーンインフラ」への理解と充実への機運を高め、＜世田谷みどり 33＞への取り組みが一層加速するよう、今後も惜しみなく努力します。
2. 私たちは、みどりの恵みに感謝する市民意識の醸成に努めるべく＜落ち葉ひろいりレー＞を全区民的な初冬のイベントとして定着させます。
3. 私たちは、世田谷のみどりを、量的な基準でのみ追い求めることなく、常に生物多様性や景観などの質的な側面からの充実を念頭に置き、世田谷らしい価値の維持と創出を図ります。
4. 私たちは、産官学民協働や、他の地方自治体との交流など、「参加と協働」を基本方針に掲げる世田谷らしい取り組みを今後も推進します。
5. 私たちは、＜世田谷みどり 33＞の実現にとって有益な事業を常に模索し、また、新たな仕組みやルールづくりも、必要に応じて検討し実現していきます。

上記の主催者宣言は、H.30年度の活動を続ける上での、いわばミッション・ステートメントとして、常に念頭に置いてきた。

その結果が、たとえば成城での「東京みどりの研究会」との交流につながったと言える。

以下、団体としての取り組みをご紹介します(カッコ内は上記5項目の数字)

- 5月：せたがやガーデニングフェア2018出展 (1)
パネル展示 / セタがやそだち野菜販売 / 花苗プレゼント付アンケート調査(200件)
世田谷まちづくりファンド助成事業まちづくり活動部門採択 (3・5)
テーマ：世田谷内のコミュニティ・ガーデン活動の支援
- 6月：世田谷ポータル都市文化交流協会キックオフシンポジウム (1)
＜世田谷みどり33と市民活動について＞のテーマで発表
- 11月：東京みどりの研究会との交流 (4)
成城地区成城会によるレクチャー / 落ち葉ひろい体験

3 成果の自己評価

最低 / 最高

☆ = 0.5

イベント	結果アウトプット	成果アウトカム	波及効果インパクト	総合自己評価
落ち葉ひろいりレー				
シンポジウム	☆			

H.30年度を振り返って

実施体制や手法に課題を抱えつつも、成果としては前年を上回るものを上げることができたと思う。

落ち葉ひろいりレーにおいて、世田谷区のみどりの6割強を占める民有地のみどりを主たる対象にする行政の要望は、今年ついに開催場所が、公有地：民有地 = 10：10となり、実現しつつある。落ち葉焼き～焼き芋をキラー・コンテンツに、参加者数を伸ばすプランも当たった。

シンポジウムは、会場変更により、こちらも参加者数が倍増したほか、過去3年間のグリーンインフラへの取り組みの中間総括の役割を果たし得た。

H.31年度以降について

担当課とは、4年目を迎える協働事業を、引き続き継続することで基本的に合意している。

行政提案型から市民提案型に切り替わるとはいえ、基本は変わらない。

主たる内容は「落ち葉ひろいりレー」と「シンポジウム」であり、特に前者については担当課の期待するレベルでの実施を、今後とも模索する必要がある。

一方、当方の希望としては「グリーンインフラ」の一語を、市民提案に加えたい。

平成30年度は、世田谷区の「グリーンインフラ元年」に、ある程度、貢献できたと思う。この流れを大きく加速するために、努力したい。そのためには、振り返り会で指摘のあった、中間支援団体としての体制を整えること、およびみどりの推進員や自治会などの、既存の団体との連携強化が、鍵を握る。

以上



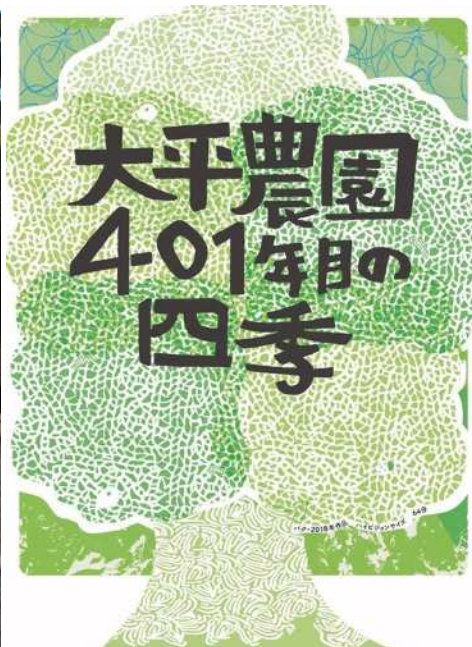
11月1日 豪徳寺からスタート



11月2日 成城初日の企業ボランティアの方々



11月22日 等々力4丁目樹林(大平農園)



映画「大平農園 401年目の四季」



12月2日 紅葉が進まぬ等々力不動尊での落ち葉焚き

参考資料 2 シンポジウム

持続可能なグリーンコミュニティを目指して シンポジウム 世田谷のグリーンインフラを考える

Toward Green Communities for a Sustainable Future
Symposium on Green Infrastructure in Setagaya Ward

開催日時 2019年2月7日(木) 18:30~21:30
 会場 北沢タウンホール (世田谷区北沢2-8-18) 小田急線・井の原線北沢駅北口徒歩4分
 参加費 無料 懇親会費=270円(先着順) ※別途送料あり
 世田谷区民33歳未満/世田谷区民33歳未満は世田谷区民33歳未満の世田谷区民33歳未満

◎特別講演 (以下順不同・敬称略)

浦井史郎 Hiroyuki URAI
 造園家/愛知県立大学特別教授/世田谷区・トランド都市文化交際協会代表
 ◎パネル・ディスカッション (高井史郎氏に加え)

土肥真人 Masato DOIH
 エココンサルタント/創時代代表理事/東京工業大学教授

小口健蔵 Kenzo OKUCHI
 政策アドバイザー
平賀達也 Tatsuya HIRAGA
 ランドスケープアーキテクト
 ◎実践/ディスカッション参加予定

藤村龍至 Ryuji FURUMURA
 ソフトウェアアーキテクト/東京藝術大学准教授

保坂展人 Nobuto HOSAKA
 世田谷区長

小口健蔵 土肥真人 平賀達也 藤村龍至 保坂展人

※ほかにご来場者による懇親会/ミニ・レクチャーも予定

グリーンインフラがひらくコミュニティの未来

2018年の暮、世田谷区では100ミリ/秒程度の記録的豪雨に見舞われました。地球温暖化がもたらす自然災害の脅威に、私たちの世田谷もさらされています。世田谷区は、4月に「みどりの基本計画」と「緑創計画(行動計画)」でグリーンインフラ自身の推進を目標に掲げました。自然のもつ回復力を生かしたグリーンインフラは、社会の回復を促す力をも秘めているのではないかと、持続可能な未来のために、グリーンインフラの可能性を考えます。

<申込み方法>
 12月21日から1月27日まで、電話またはファクシミリで、世田谷区コールセンター(TEL.03(3432)8188 / FAX 03(3432)3160)へお申込みください(参加申込み人数が超過定員に達し次第、参加申込み受付は終了します)。
 ※ FAX 記入の場合
 ◎お名前、◎ご住所、◎ご氏名(ふりがな)、◎年齢、◎電話番号または FAX 番号
 ※駐車場がございません。会場へは公共交通機関をご利用の上、お越しください。

世田谷区民33歳未満 世田谷区民33歳未満 世田谷区民33歳未満
 申込窓口 33歳未満 33歳未満 33歳未満

このイベントは、平成30年度世田谷区民33歳未満の世田谷区民33歳未満の一環として実施するものです。
 問い合わせ：世田谷区民33歳未満課 大石 006-9871-9038 / oshida@setagaya-cp.jp

編者/コーディネーター/監修/構成

編者/監修/構成 保坂展人 高井史郎 浦井史郎
 構成 高井史郎 浦井史郎

講演者 高井史郎 浦井史郎 土肥真人 小口健蔵 平賀達也 藤村龍至 保坂展人

シンポジウム/ディスカッション/実践/ディスカッション/懇親会/ミニ・レクチャー

18時30分 18時35分 19時00分 19時50分 20時00分 20時10分

18時30分 18時35分 19時00分 19時50分 20時00分 20時10分

20時10分 20時15分 20時20分 20時25分 20時30分 20時35分 20時40分 20時45分 20時50分 20時55分 21時00分

20時10分 20時15分 20時20分 20時25分 20時30分 20時35分 20時40分 20時45分 20時50分 20時55分 21時00分

20時10分 20時15分 20時20分 20時25分 20時30分 20時35分 20時40分 20時45分 20時50分 20時55分 21時00分

20時10分 20時15分 20時20分 20時25分 20時30分 20時35分 20時40分 20時45分 20時50分 20時55分 21時00分

20時10分 20時15分 20時20分 20時25分 20時30分 20時35分 20時40分 20時45分 20時50分 20時55分 21時00分

20時10分 20時15分 20時20分 20時25分 20時30分 20時35分 20時40分 20時45分 20時50分 20時55分 21時00分

20時10分 20時15分 20時20分 20時25分 20時30分 20時35分 20時40分 20時45分 20時50分 20時55分 21時00分

フライヤー



共同宣言の発表